

諸戸徳成邸見学会

～桑名市の歴史・文化的資産を活かす～



開催日:平成25年11月3日(日)14:30～16:00

集合場所:桑名駅改札前 14:00 (Pは駅前に有料駐車場あり:徳成邸にはありません)

コース:桑名駅前～諸戸水道～徳成邸～走井山～北勢線馬道駅～西桑名駅・・・桑名駅

- 所在地 : 桑名市東方1524番地
- 敷地面積: 7,700㎡(建築面積1,050㎡、墓地面積 1,755㎡
庭園面積4,897㎡)
- 建築規模: 9棟
- 造営年代: 大正末期～昭和初期

■諸戸徳成邸について

諸戸徳成邸は、桑名市街地の西方、愛宕山と人々に親しまれた段丘に、二代諸戸清六によって建てられた邸宅である。長男民和が旧制桑名中学(現桑名高等学校)に進学する際、通学に便利ように中学に近い場所を選んだと伝えられるが、かつて2階からは揖斐川を望むことが出来たと言い、高台から眺望のきく立地であったことも、この地の魅力であったと考えらる。太平洋戦争の際に本邸(旧諸戸家住宅)が空襲で被害を受けたことを期に別邸であるこの徳成邸に定住したとされています。

敷地東北には茶室が建てられ、茶庭は東海に茶の世界を広めた立役者である松尾宗吾の作庭と伝わっている。

この他にも敷地内には、広間や食堂棟のゲストルームや、茶室など、複数の建物が現存しており、初代清六墓所と両諸戸家(本家・宗家)の一族の墓所、諸戸家従者の墓が存在する。

■参加申込み:都市環境デザイン会議 中部ブロック 集山一廣
e-mail:shuuyama.kazuhiro@takenaka.co.jp (竹中工務店名古屋支店)
fax:052-201-8756

■参加希望 fax:052-201-8756 集山まで

■住所または所属

■氏名

■連絡先 tel・e-mail